

「七日市場の歴史(第五十五回)」

市場があった頃のこと ③

曾根原 孝和

史跡巡りから 昨年十月、七日市場の北東部で市場があったと伝わる地域の史跡巡りをしました。参加者は二〇人で、史跡を一回りした後には「知らない道を通り、歴史ある社や堰等を回る中で、古きよき七日市場の土地を巡ることが出来とてもよかった」「気付かずに通り過ぎてしまいそうな場所に延命地藏様、ドバシタの水神様、社宮司と貴重な歴史が残されていて、説明されて少し利口にさせてもらった」など感想が寄せられました。

延命地藏菩薩像 一番先に拝観した延命地藏菩薩さんには、民話があります。当日はお伝えしませんでしたので一部を紹介します。おたねばあさんが出てきます。

「どうかお地藏さま、おねがいします。嫁のお産が軽いききますように、なにとぞおねがいします」

小声でいっしんに拝んでいる声に、おたねばあさんは人ごとに思えません。それは家の嫁が何度も流産してしまい、お地藏さんをお願いしてやっと子どもを授かったのです。

願いをかける人は、それから毎日朝早く来ていました。…ふと気がつくとき、お地藏さまに新しい赤いじゅばんがかけられていました。きっと願いごとがかなったのでしょう。

(『三郷の民話』郷土出版社より)

親子の参加者 新しく七日市場に見えられた親子四人が参加くださいました。上のお子さんは保育園児です。皆と元気よく歩き、最後の見学地西木戸観音原にきました。

ここでは、九基の石仏などや蚕影神社を自由に観ました。その時お子さんとお父さんは、奥の方に立っていた聖観音菩薩像の近くで、指さしながら語り合っていました。とてもほほえましいひと時でした。

「歴史の会」で編集しました『七日市場の歩み』に、地区の約六〇基の石仏・石神等の写真、大きさ、地図上の位置などが示してあります。冊子を見ながら石仏などと語り合ってくださいるとうれしいです。

